

第4章

育児休業制度の利用状況

第4章 育児休業制度の利用状況

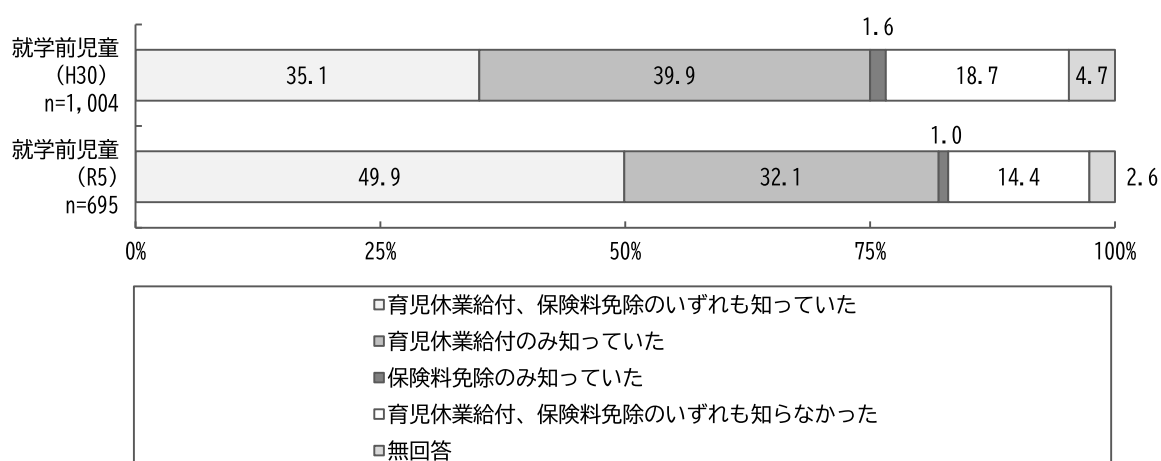
1 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 両立支援制度の認知状況

○国の両立支援制度（職場における育児休業給付と保険料免除）の認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（49.9％）が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（32.1％）となっています。一方で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した方が14.4％となっています。

○前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が14.8ポイント増加し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が4.3ポイント減少しています。

問29 国の両立支援制度の認知状況（経年比較）

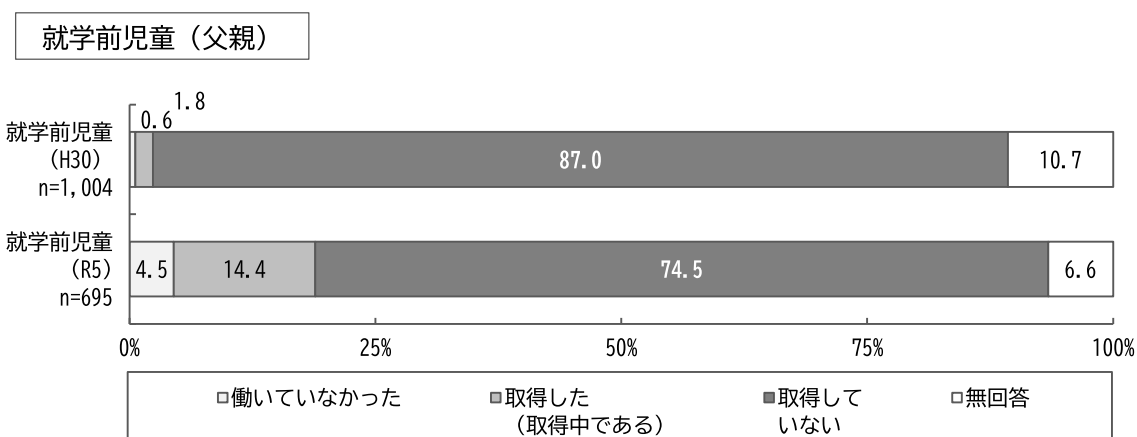
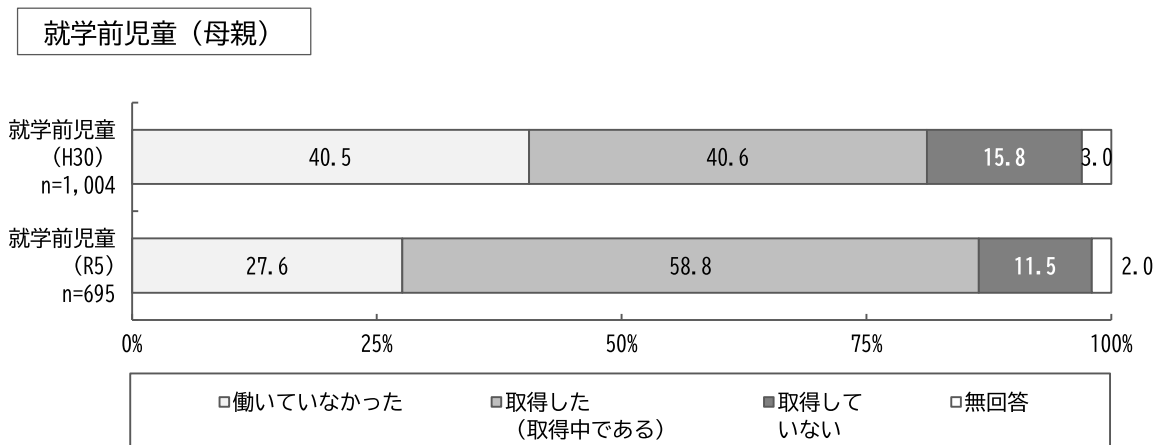




(2) 育児休業制度の利用状況

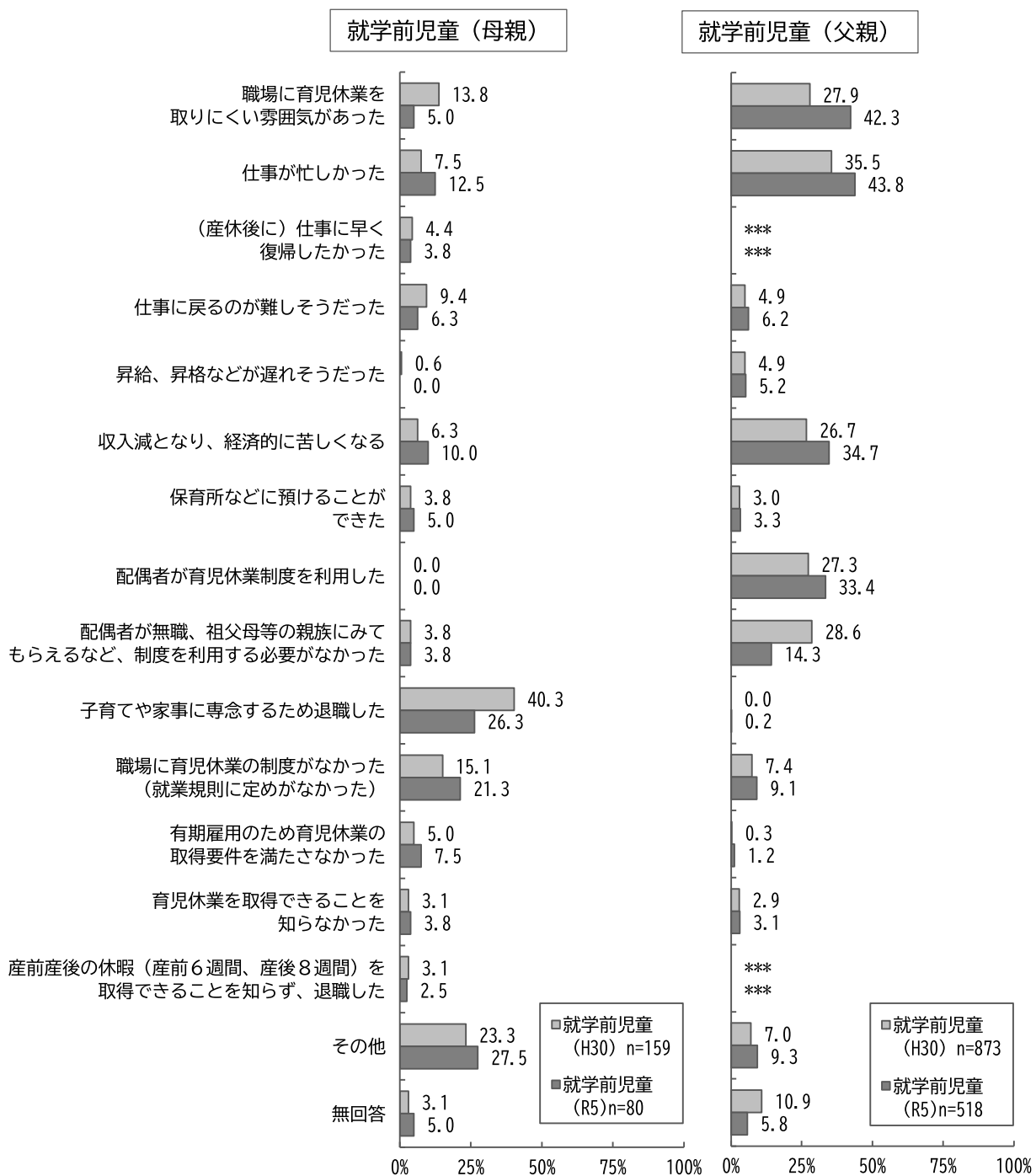
○育児休業制度の利用状況をみると、就学前児童では、「取得した（取得中である）」母親では58.8%、父親では14.4%となっています。前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は18.2ポイント、父親は12.6ポイント増加しています。

問30 育児休業制度の利用状況（経年比較）



○育児休業を取得していない理由をみると、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」(26.3%)が最も高くなっています。父親では、「仕事が忙しかった」(43.8%)が最も高くなっています。また、「その他」の理由としては、母親・父親ともに「自営業のため」「フリーランスのため」と回答しています。前回調査と比較すると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」は14.0ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が8.8ポイント減少、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が14.3ポイント減少し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が14.4ポイント増加しています。

問30-1 育児休業を取得していない理由（経年比較）



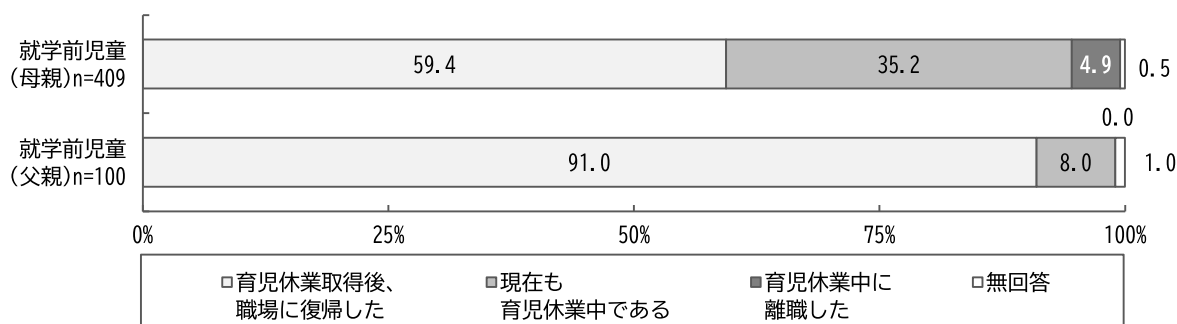


(3) 職場復帰の状況

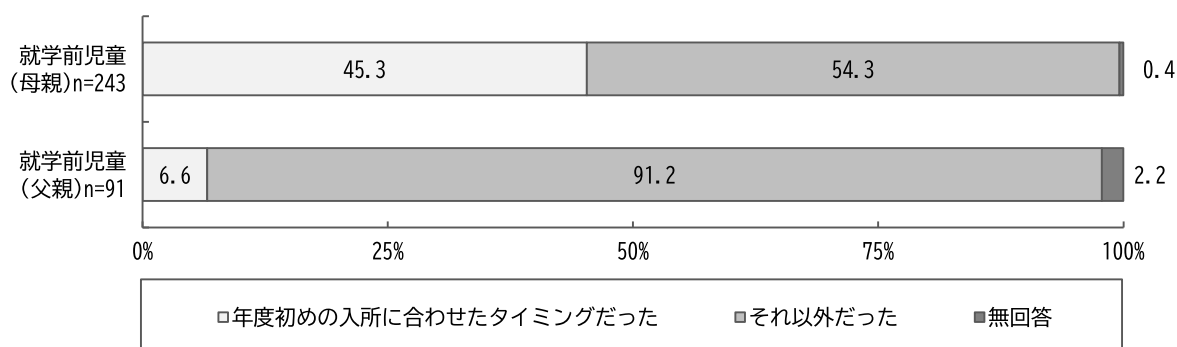
○育児休業取得後の対処をみると、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(59.4%)が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(35.2%)となっています。父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(91.0%)が最も高くなっています。

○育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親、父親といずれも「それ以外だった」(母親54.3%、父親91.2%)となっています。

問30-2 育児休業取得後の職場への対処



問30-3 育児休業後に職場へ復帰した時期

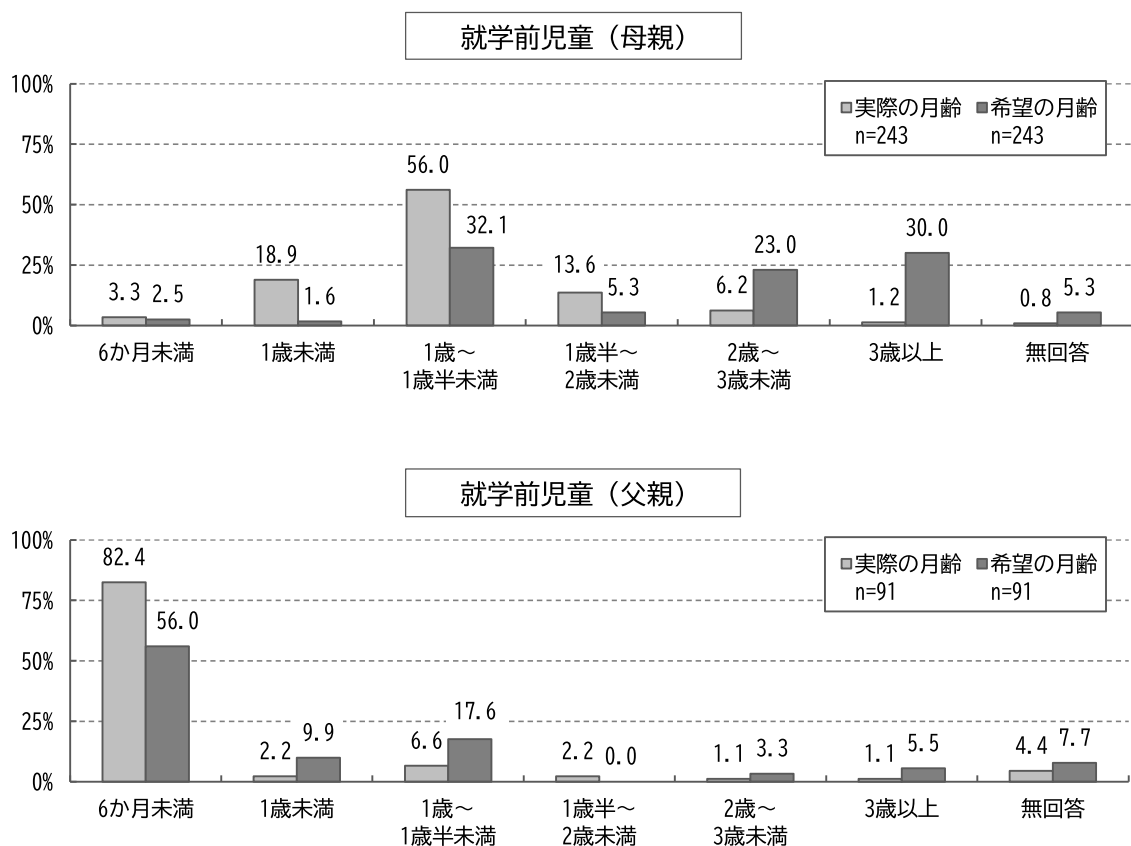


○母親が育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望の月齢をみると、いずれも「1歳～1歳半未満」（実際の月齢56.0%、希望の月齢32.1%）が最も高くなっています。また、希望する期間のうち、「3歳以上」を希望した母親は30.0%となっています。

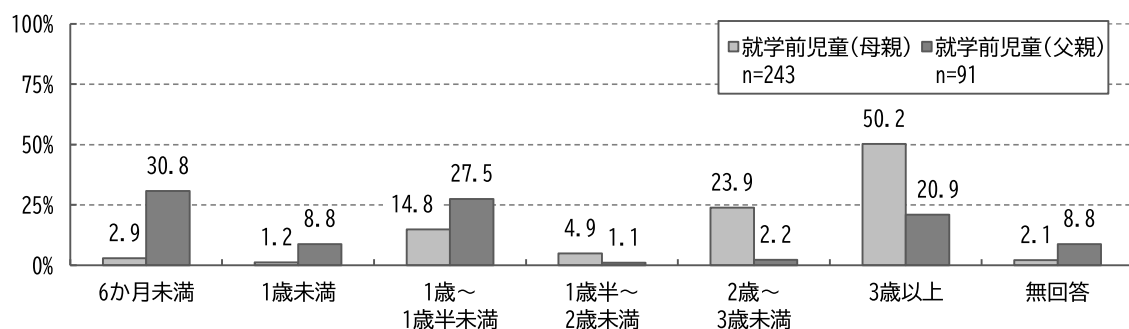
○父親では、実際の月齢、希望の月齢ともに「6か月未満」（実際の月齢82.4%、希望の月齢56.0%）が最も高くなっています。

○3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢をみると、母親では「3歳以上」（50.2%）、父親では「6か月未満」（30.8%）が最も高くなっています。

問30-4 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



問30-5 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望する月齢

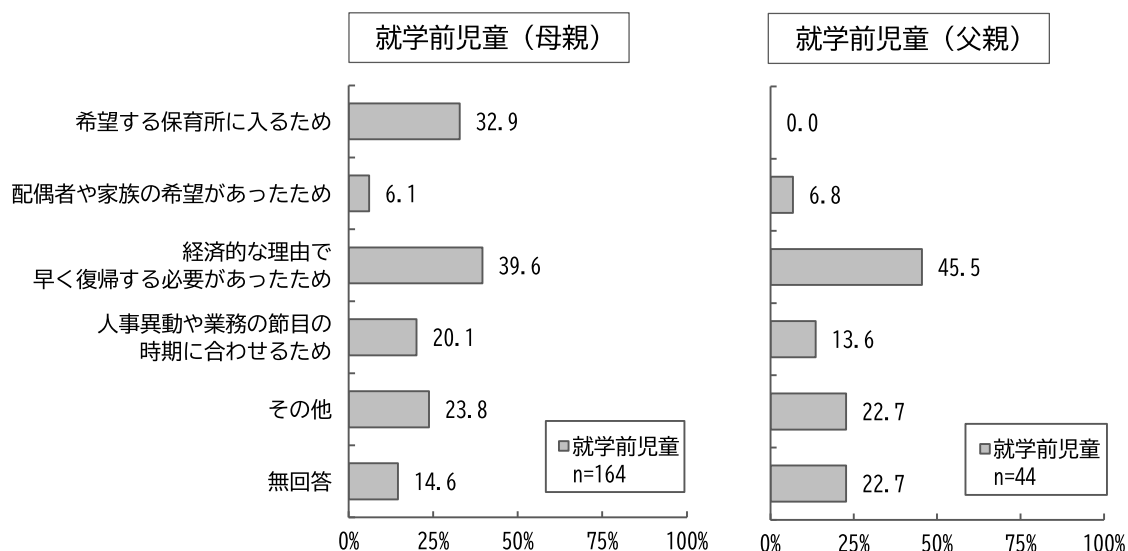




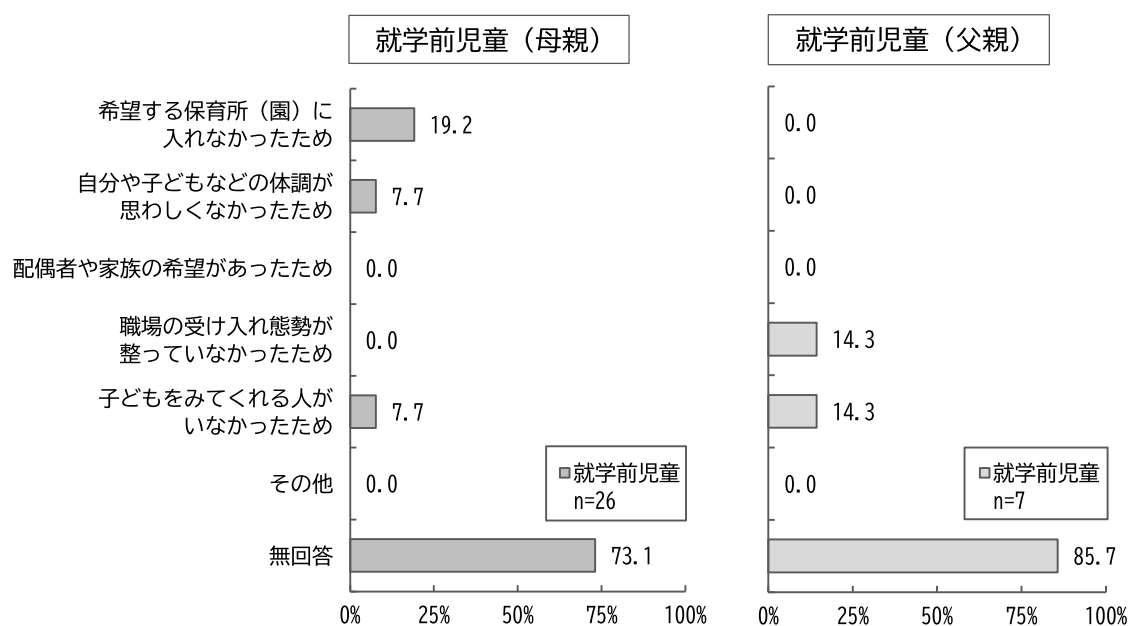
○育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由をみると、母親、父親いずれも「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（母親39.6%、父親45.5%）が最も高くなっています。

○「希望の時期」より遅く職場復帰した理由をみると、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」（19.2%）が最も高くなっています。

問30-6(1) 育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由



問30-6(2) 育児休業から「希望の時期」より遅く職場復帰した理由

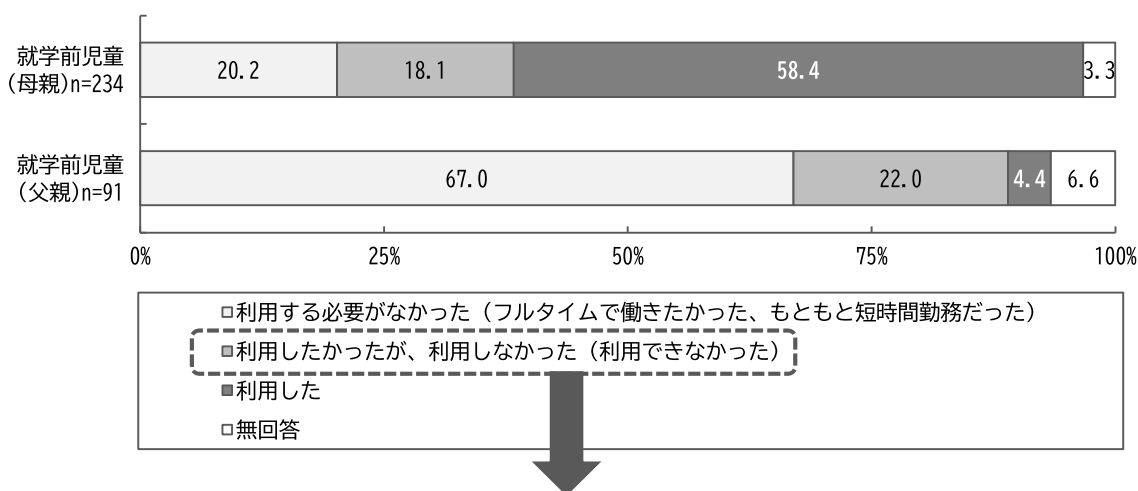


(4) 短時間勤務制度の利用状況

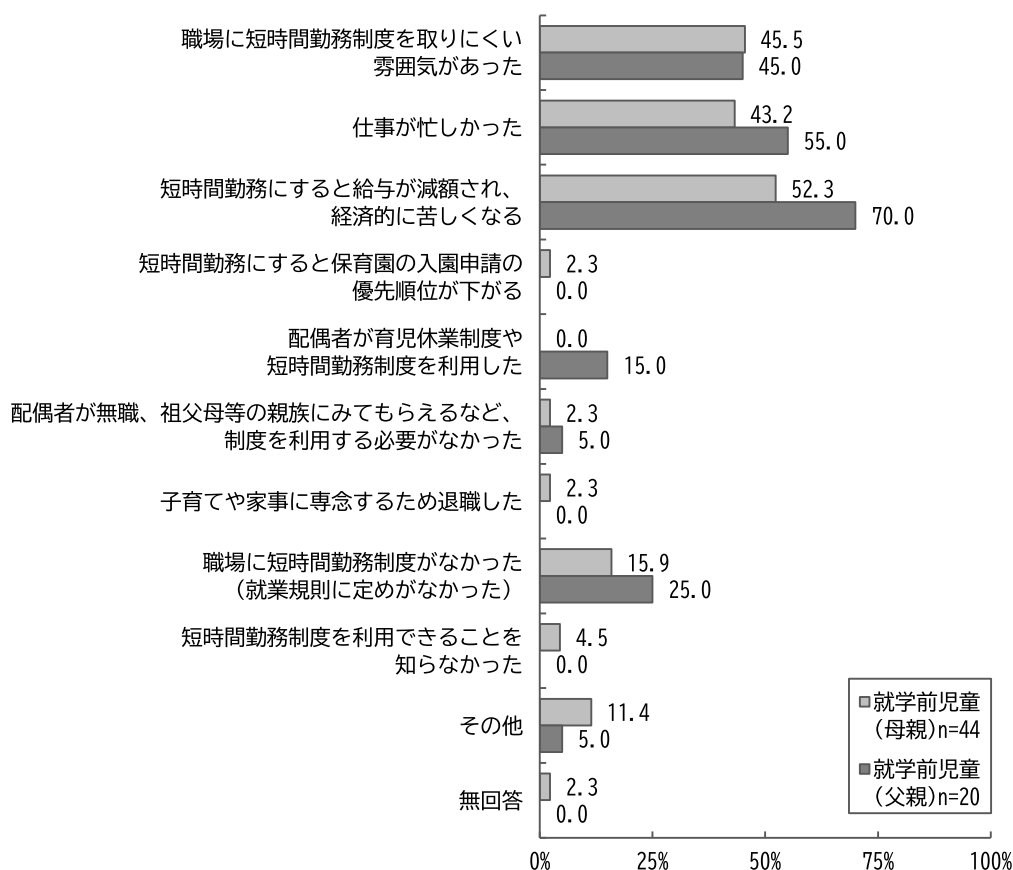
○職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、「(短時間勤務制度を) 利用した」では母親が58.4%となっていますが、父親は4.4%に留まっています。

○職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親、父親いずれも「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(母親52.3%、父親70.0%)が最も高く、次いで母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(45.5%)、父親では「仕事が忙しかった」(55.0%)となっています。

問30-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由

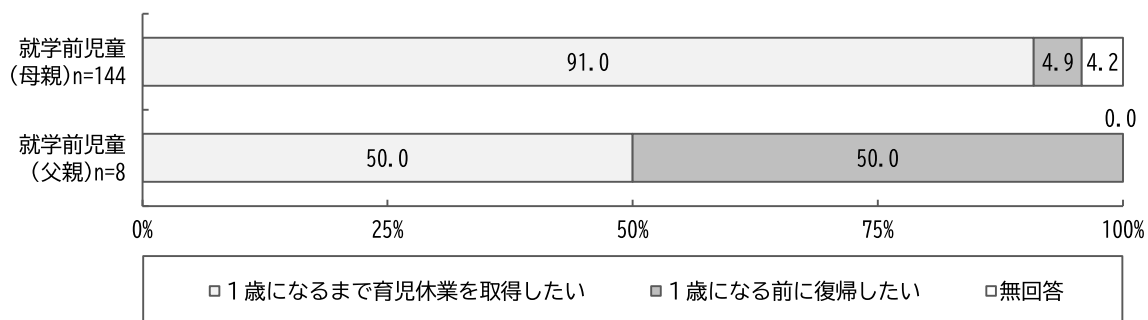




(5) 育児休業取得期間の希望

○1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.0%となっています。

問30-9 1歳になったときに預け先が保障される場合の育児休業取得の希望



第5章

子育て支援の充実

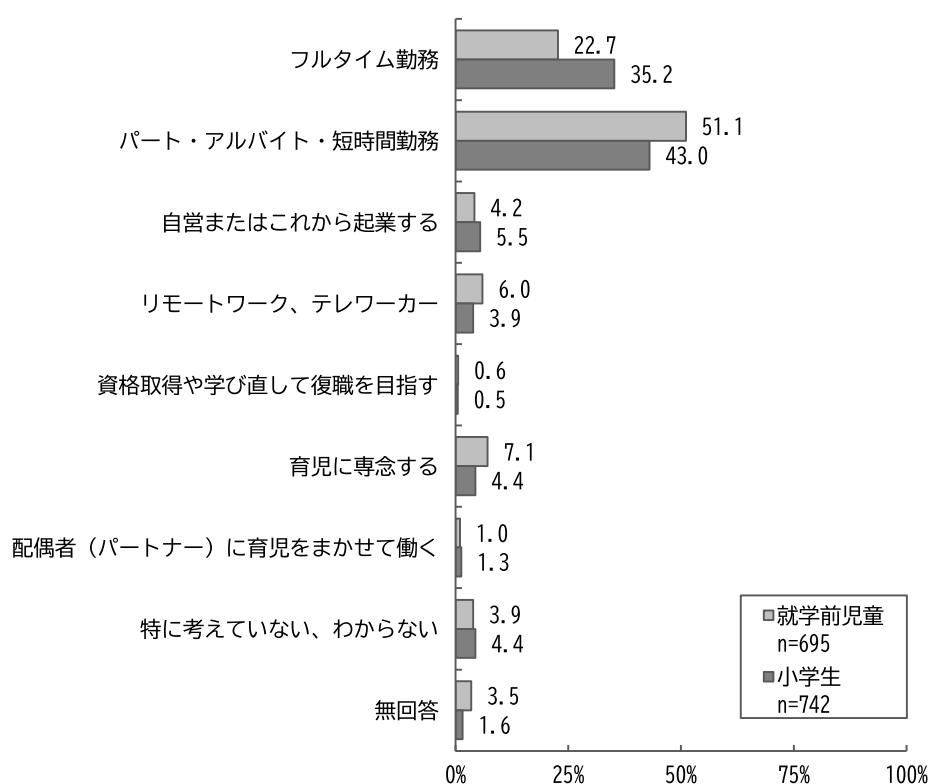
第5章 子育て支援の充実

1 子育てについて

(1) 子育て中の働き方について

○子育て中の働き方として希望するスタイルについてみると、就学前児童、小学生いずれも「パート・アルバイト・短時間勤務」（就学前児童51.1%、小学生43.0%）が最も高くなっています。

問31[問17] 子育て中の働き方として希望するスタイル



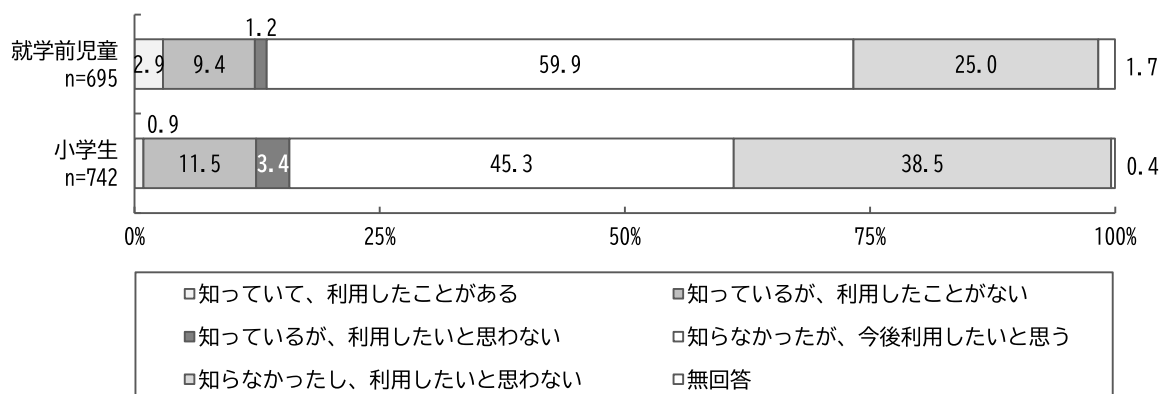


(2) 子育てのことについて

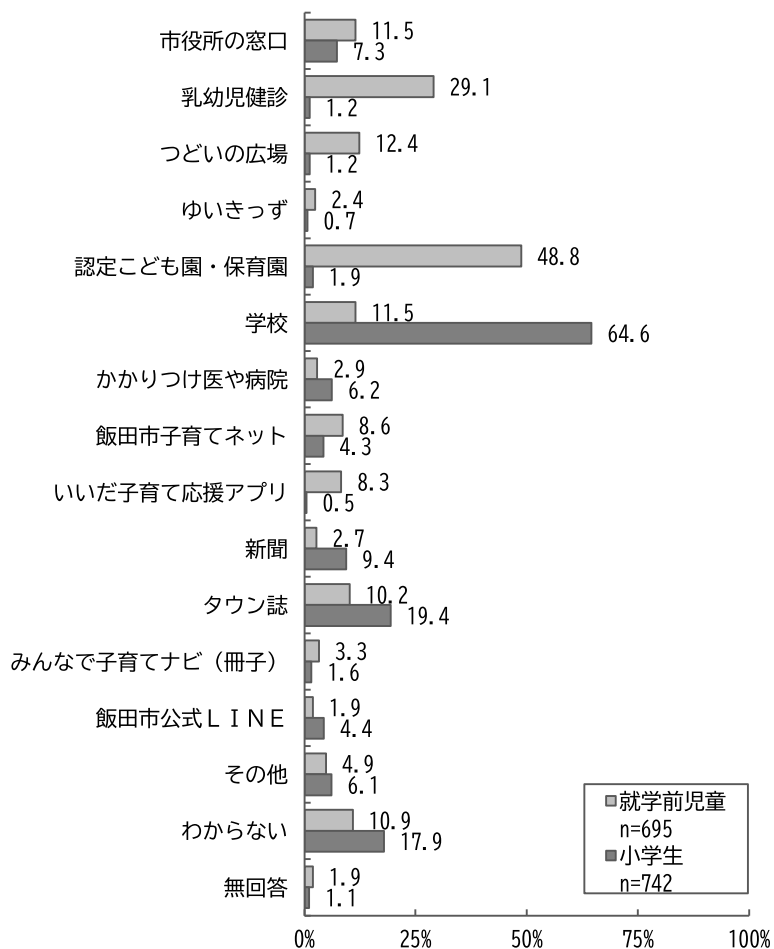
○児童手当や認定こども園等入所に関する手続きがマイナンバーカードを使用してオンライン手続きできることを知っているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「知らなかったが、今後利用したいと思う」（就学前児童59.9%、小学生45.3%）が最も高くなっています。

○市の子育てに関する情報の入手方法をみると、就学前児童では「認定こども園・保育園」（48.8%）、小学生では「学校」（64.5%）が最も高くなっています。

問32[問18] マイナンバーカードを使用したオンライン手続きを知っているか



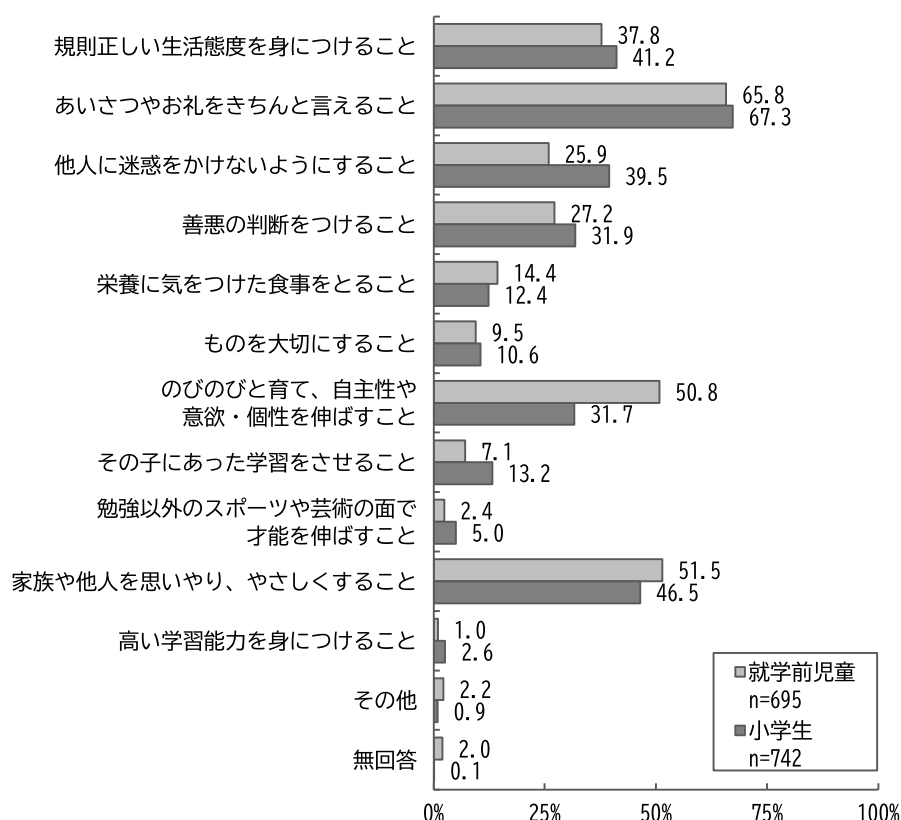
問33[問19] 市の子育てに関する情報の入手方法



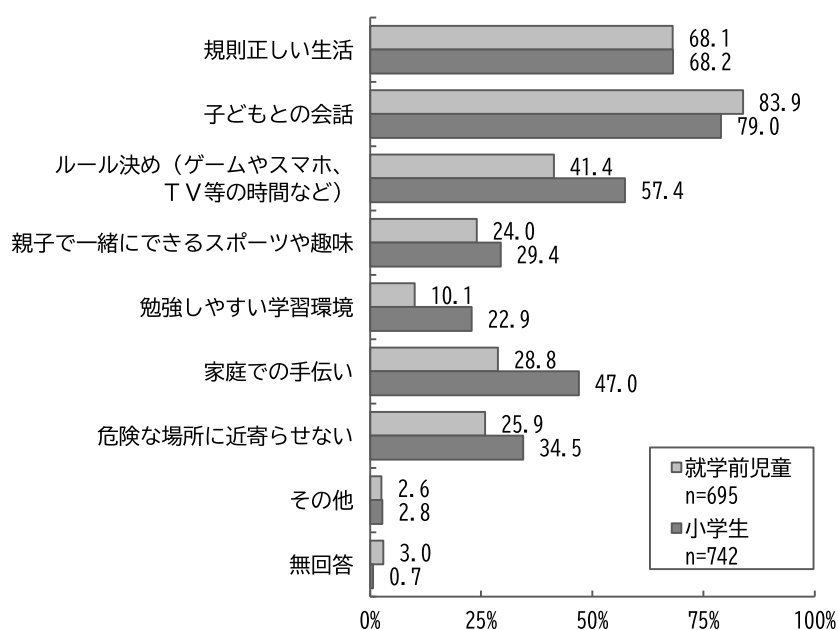
○子育てにおいて、大切にしていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「あいさつやお礼をきちんと言えること」(就学前児童65.8%、小学生67.3%)が最も高くなっています。

○子どもと一緒に過ごす中で心掛けていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「子どもとの会話」(就学前児童83.9%、小学生79.0%)が最も高くなっています。

問34[問20] 子育てにおいて、大切にしていること



問35[問21] 子どもと一緒に過ごす中で心掛けていること





(3) 子育てに関する悩みや不安

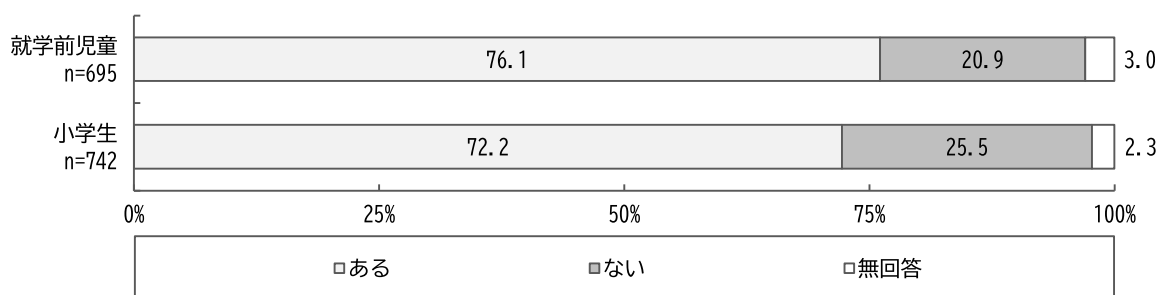
○子育てに関して不安感や負担感を感じるものの有無をみると、「ある」と回答した方が就学前児童では76.1%、小学生では72.2%となっています。

○これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるかについてみると「こどものしつけのためには叩くことも必要だ」では、「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では17.7%、小学生では27.8%となっています。

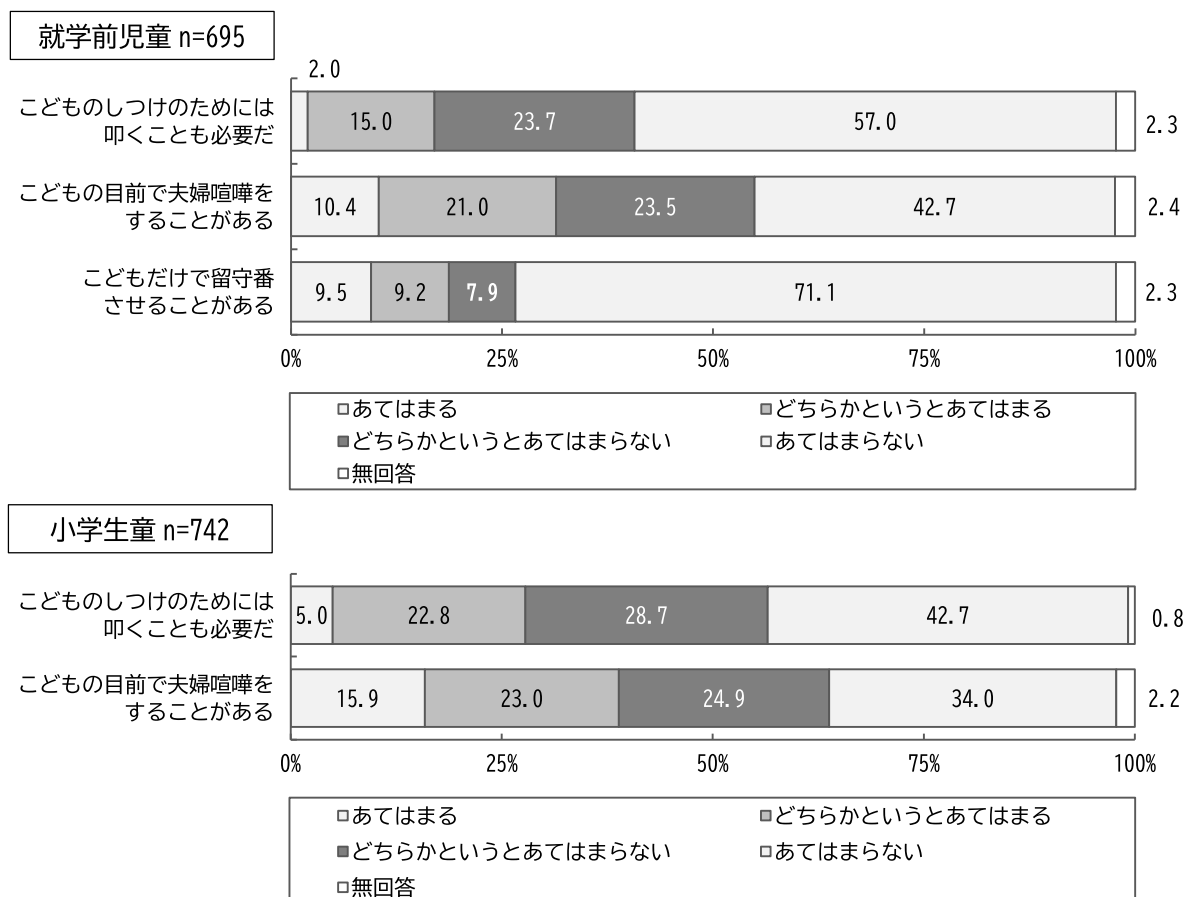
○「こどもの目前で夫婦喧嘩をすることがある」では「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では31.4%、小学生では38.9%となっています。

○「こどもだけで留守番させることがある」では「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では18.7%となっています。

問36[問22] 子育てに関して不安感や負担感を感じるものの有無

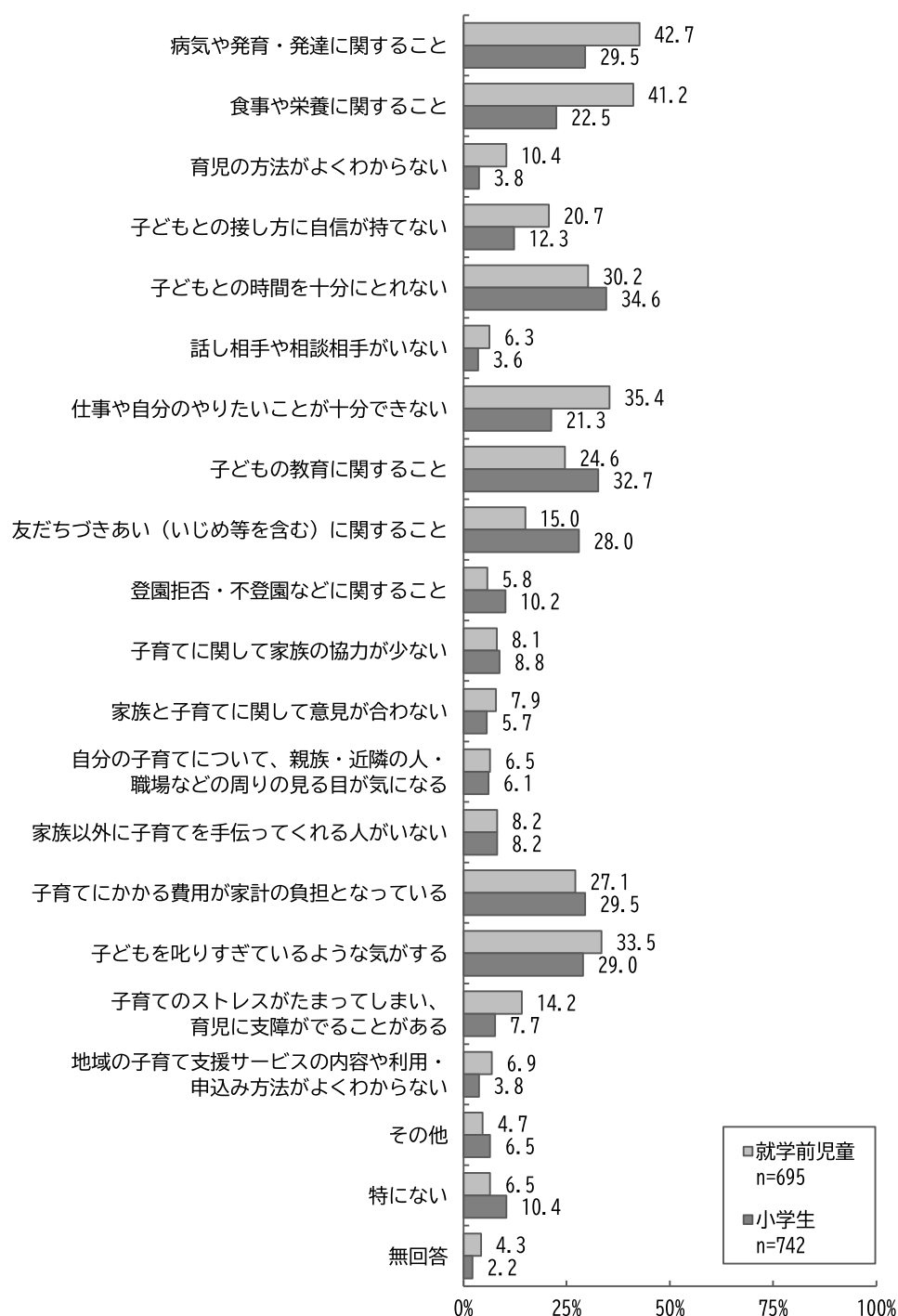


問38[問24] これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるか



○日頃悩んでいること、気になることをみると、就学前児童では「病気や発育・発達に関すること」(42.7%)、小学生では「子どもとの時間を十分にとれない」(34.6%)が最も高くなっています。

問37[問23] 日頃悩んでいること、気になること





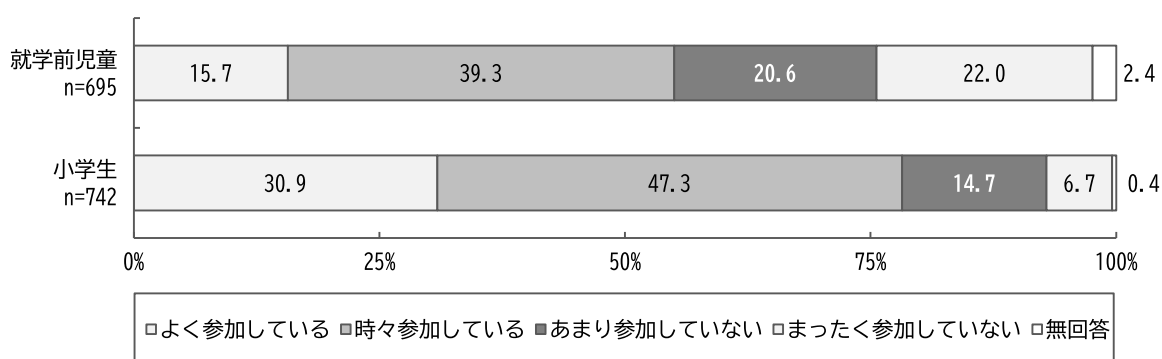
(4) 子育て家庭の暮らし向きについて

○地域の行事等に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「時々参加している」(就学前児童39.3%・小学生47.3%)が最も高くなっています。

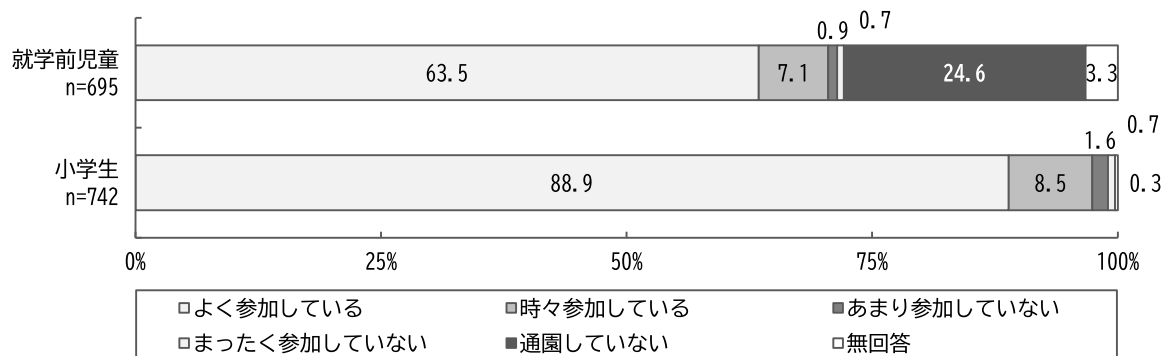
○子どもが通う園・学校の行事に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく参加している」(就学前児童63.5%・小学生88.9%)が最も高くなっています。

○同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をするかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく話す」(就学前児童56.4%・小学生44.3%)が最も高くなっています。

問39①[問25①] 地域の行事等に参加しているか

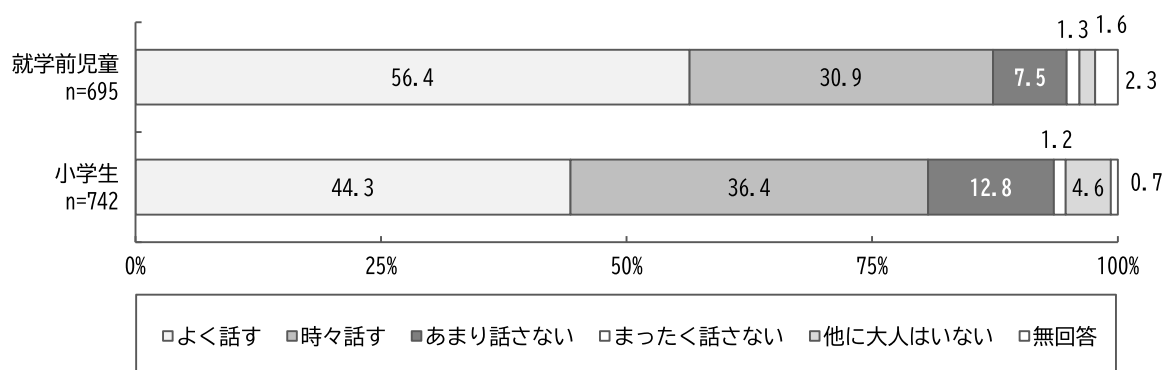


問39②[問25②] 子どもが通う園・通う学校の行事に参加しているか



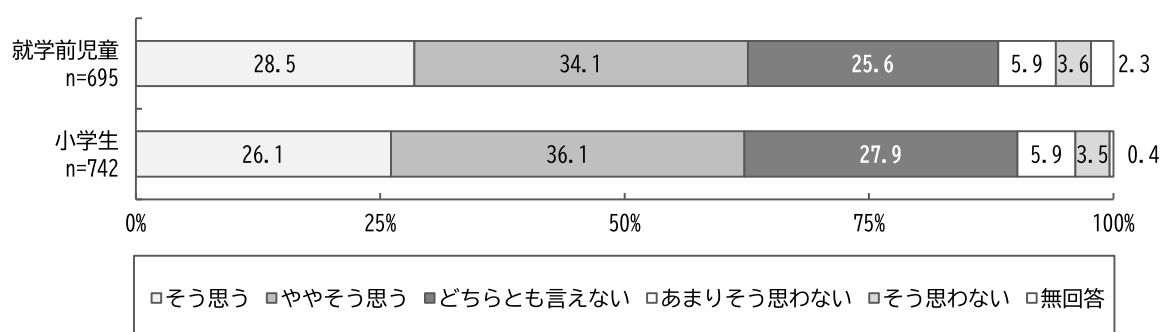
※「通園していない」の選択肢は就学前児童のみ

問39③[問25③] 家族で、子育てや子どもの教育についてよく話をするか

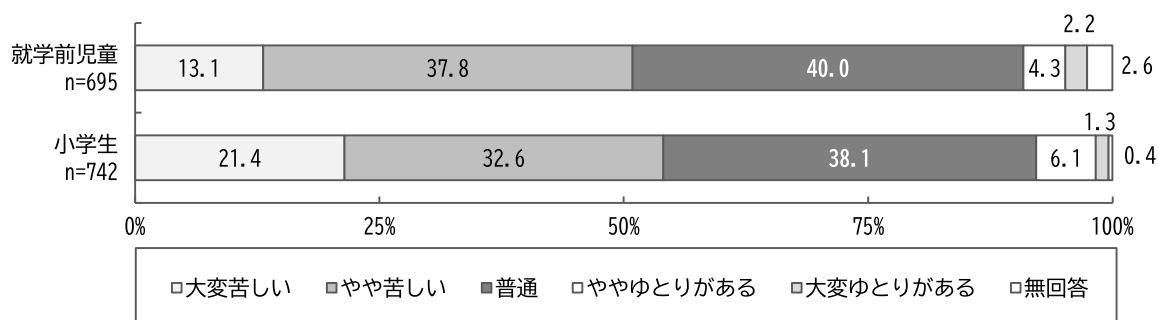


- 生活上の困難（失業や低所得、病気、要介護の状態など）を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「ややそう思う」（就学前児童34.1%・小学生36.1%）が最も高くなっています。
- 現在の暮らしの状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「普通」（就学前児童40.0%・小学生38.1%）が最も高くなっています。
- お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことの有無についてみると、就学前児童、小学生ともに「なかった」（就学前児童95.3%、小学生94.7%）が最も高くなっています。一方、「あった」は就学前児童で1.4%、小学生で3.6%となっています。

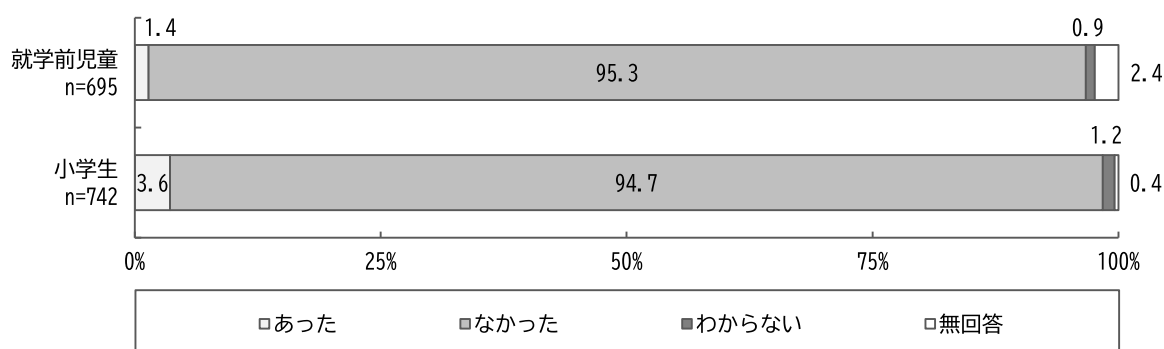
問39④[問25④] 生活上の困難を解決するために、地域の人々と協力することが望ましいか



問40[問26] 現在の暮らしの状況



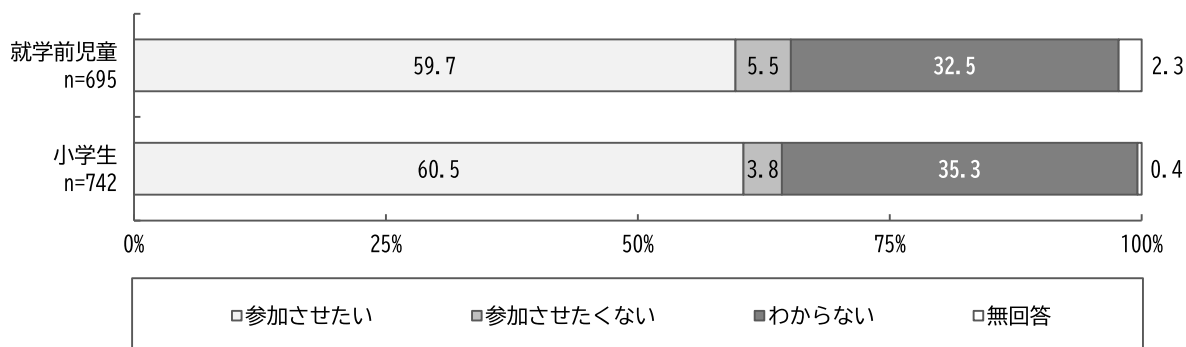
問41[問27] 経済的理由の料金滞納で電気・ガス・水道を止められたことの有無



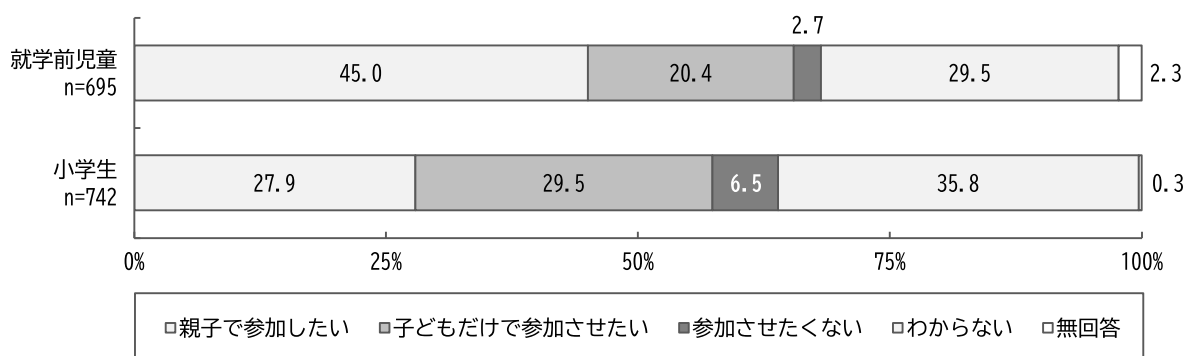


- ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいかをみると、就学前児童、小学生ともに「参加させたい」（就学前児童59.7%、小学生60.5%）が最も高くなっています。
- 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたいかをみると、就学前児童では「親子で参加したい」（45.0%）、小学生では「わからない」（35.8%）が最も高くなっています。

問42[問28] ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいか



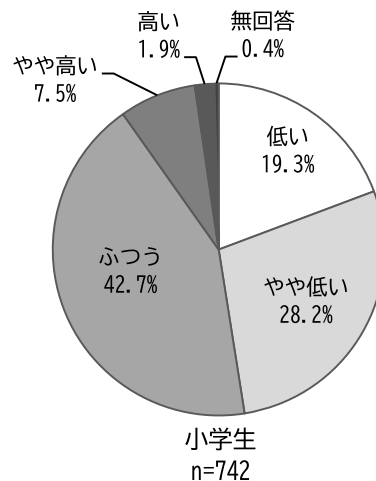
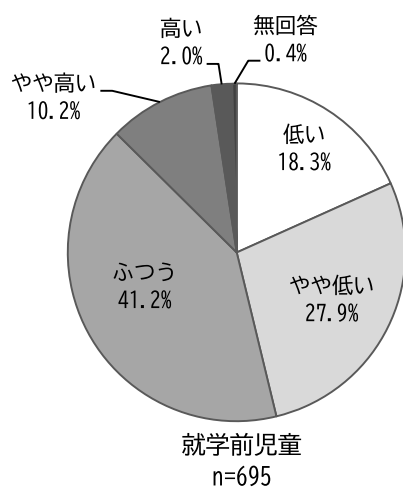
問43[問29] 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたい



(5) 子育て環境や支援の満足度

○「子育ての環境や支援に対する満足度」が高いと感じる保護者（「高い」＋「やや高い」）をみると、就学前児童（12.2%）、小学生（9.4%）となっており、ふつうと感じる保護者は就学前児童では41.2%、小学生では42.7%となっています。一方、低いと感じる保護者（「低い」＋「やや低い」）をみると、就学前児童（46.2%）、小学生（47.5%）となっています。

問44[問30] 子育ての環境や支援に対する満足度



資料編

資料編

1 就学前児童保護者の調査票

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【調査協力をお願いします】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期福岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。
この度、令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、保護者の方の
子育て状況、ご要望やご意見、利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査のご協力を
お願いするものです。
本調査は無記名で行い、ご本人が特定されることはありません。率直なご意見をご記入
ください。調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。
ご回答が多く、ご負担をおかけいたしますが、調査の趣意をご理解いただき、アンケート
調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

飯田市長 佐藤 健

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートは封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方にご記入ください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で開くください。
3. 数字で年齢や時間（時刻）をご記入いただく質問は、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。記入例：午後6時 → 18時
4. 設問によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、ことわり書きや失
印に従ってお答えください。特にことわりがない場合は、次の設問にお進みください。

■インターネットでの回答
パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかをもち、下記のURL又は右下の
QRコードを読み取りアクセスし、画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、
質問項目にお答えください。調査票を返送していただく必要はありません。
※英数字は二重入力を防止するもので、他人を特定するものではありません。

(URL) <https://survey.jp/s.php?clear&id=221>

QRコード

※回答を中絶した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開して
ください。

■ご回答いただくうえでご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
飯田市子育て支援課 電話 0265-22-4511（内線 5346）

いただいたご回答は、飯田市の子育て支援の充実に活かします

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどこですか。【○は1つだけ】

1. 橋北	2. 橋南	3. 羽場	4. 丸山	5. 東野
6. 産光寺	7. 松尾	8. 下久堅	9. 上久堅	10. 千代
11. 飯江	12. 竜丘	13. 川路	14. 三橋	15. 山本
16. 伊賀良	17. 薮	18. 土庫	19. 上村	20. 南信濃

おさんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のおさんの生年月を数字でご記入ください。

西暦 20 年 月 生まれ

問3 宛名のおさんのさようたいは何人ですか。
※宛名のおさんを含めた人数を数字でご回答ください。
※「4、4人以上」に○をつけた方は、具体的な人数を数字でご回答ください。

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上 (人)

1

問3-1 理想の子ども数と実際の子ども数に違いがあります。【○は1つだけ】

1. 理想より多い	2. 理想より少ない
3. 理想と実際と同じ（変わらない）	4. 不明

問3-1で「1.理想より多い」または「2.理想より少ない」に○をつけた方にうかがいます。

問3-2 あなたが理想の子ども人数は何人ですか。【○は1つだけ】

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

問3-1で「2.理想より少ない」に○をつけた方にうかがいます。

問3-3 その理由は何ですか。【○は3つまで】

1. これから出産を予定しているから	2. その子について手がかけられるから
3. 子育てや教育にかかる費用が大きい	4. 仕事と子育ての両立が難しい
5. 身体的・精神的な負担が大きい	6. 高年齢や健康などの問題で出費が難しい
7. 住居が狭い	8. 子育てを手助けしてくれる人が近くにいない
9. 社会生活や環境問題など不安がある	
10. 保育園、認定こども園などの保育サービスが十分でない	
11. 子どもを育てるための家族環境がよい	
12. 子育てより自分たちの生活を優先したい	
13. 子どもがあまり好きではない	
14. その他 ()	

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみた関係でお答えください。
【○は1つだけ】

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。
【○は1つだけ】

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 おさんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。【○は1つだけ】
※宛名のおさんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

おさんの育ちをめぐ環境についてうかがいます

問7 おさんの子育て（教育を含む）に日常に携わっている方はどなた（どこ）ですか。
【○はあてはまるものすべて】 ※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父兄ともに	2. 母親	3. 父親
4. 祖父母	5. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	
6. その他 ()		

問8 おさんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。
【○はあてはまるものすべて】 ※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 家族	2. 地域
3. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	4. その他 ()

問9 日頃、おさんを育てる親族・知人はいますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にのみてもらう	⇒ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にのみてもらう	
3. 日常的に子どもを育てる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の時には子どもを育てる友人・知人がいる	⇒ 問9-2へ
5. いずれもない	

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをもてもらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを育てる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きき心配である
3. 祖父母等の親族の精神的負担や時間的制約が大きき心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
5. 子どもと教育や発達によってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

3

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	2. 友人・知人の身体的負担が大きき心配である
3. 友人・知人の精神的制約や精神的な負担が大きき心配である	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	6. その他（ ）

問10 お子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。【○は1つだけ】

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ 2. いない／ない ⇒ 問11へ

問10で「1.」あるいは「ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父祖母等の家族	2. 友人や知人	3. 近所の人
4. 子育て支援施設（つどいの広場）	5. 飯田市子ども家庭課（ゆいさっず）	
6. 保健センター（保健所）	7. 地区の保健師	
8. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）の先生	9. 主任児童委員・民生児童委員	10. かかりつけの医師
11. 子育て関連担当窓口	12. その他（ ）	

問11 子育て（教育を含む）をする上で、民間（身元人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由に記入ください。

4

お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます

母親についてうかがいます ※父子家庭の場合は、記入不要です。⇒問13へ

問12 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

※就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をフルタイムかパート・アルバイトか、を選択してください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒問12-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒問12-4へ
6. これまで就労したことがない	

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字で記入してください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。
※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字で記入してください。

※時間や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。
※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、24時間制（例）09時00分、18時00分のように「:」で記入ください。

家を出る時刻 □ 時 □ 分 帰宅時刻 □ 時 □ 分

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-2 仕事と子育ての両立について保護者の方とはどのような状況ですか。【○は1つだけ】

1. 仕事を優先している	2. やむをえず子育てより仕事を優先している
3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている	4. やむをえず仕事より子育てを優先している
5. 子育てを優先している	6. その他（ ）

5

問12で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある	⇒問13-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）での就労を続けることを希望	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい	

問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問12-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字を記入してください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	⇒希望する就労形態
2. 1年より先、一歳下の子どもが □ 歳になったころに就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
⇒希望する就労形態	

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

② パートタイム・アルバイト等（①以外）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

父親についてうかがいます ※母子家庭の場合は、記入不要です。⇒問14へ

問13 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒問13-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒問13-4へ
6. これまで就労したことがない	

6

問13で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字で記入してください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。
※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字で記入してください。

※時間や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。
※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、24時間制（例）09時00分、18時00分のように「:」で記入ください。

家を出る時刻 □ 時 □ 分 帰宅時刻 □ 時 □ 分

問13で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 仕事と子育ての両立について保護者の方とはどのような状況ですか。【○は1つだけ】

1. 仕事を優先している	2. やむをえず子育てより仕事を優先している
3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている	4. やむをえず仕事より子育てを優先している
5. 子育てを優先している	6. その他（ ）

問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問13-3 フルタイムへの就労希望はありますか。【○は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある	⇒問13-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）での就労を続けることを希望	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい	

問13で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問13-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字を記入してください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	⇒希望する就労形態
2. 1年より先、一歳下の子どもが □ 歳になったころに就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
⇒希望する就労形態	

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

② パートタイム・アルバイト等（①以外）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

7

お子さんの平日の「定期的な教育・保育」の利用状況について うかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、保育園や認定こども園（幼稚園も含む）など、問14-1に示した事業が考えられます。

問14 お子さんは現在、保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの「定期的な教育・保育」を利用していますか。【○は1つだけ】

1. 利用している ⇒ 問14-1へ 2. 利用していない ⇒ 問14-5へ

問14-1～問14-4は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 お子さんは、平日どのような「定期的な教育・保育」を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はあてはまるものすべて）

1. 認定こども園（幼稚園も含む）（標準時間6時間以内で幼児教育を行う施設）
2. 認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育（認定こども園で4時間以上預かってもらうこと）
3. 保育園（保育所型と幼保連携型認定こども園を含む標準時間11時間以内または短時間8時間以内で親が働いている時間に子どもを預かる施設）
4. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
5. その他認可外の保育施設
6. ファミリー・サポート・センター（地域住民が有償で子どもを預かる事業）
7. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. 自治体の認定・認定保育施設（認可保育園ではないが自治体が認定・認定した施設）
10. その他（ ）

問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在の利用状況 ※時間（時刻）は、24時間制でご記入ください。

1 週当たり 日程度
1 日当たり 時間程度 時～ 時

(2) 希望の利用状況 ※時間（時刻）は、24時間制でご記入ください。

1 週当たり 日程度
1 日当たり 時間程度 時～ 時

8

問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。【○は1つだけ】

1. 区市町村 2. 他、他市町村

問14-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方に病状や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問14-5 「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問14-5 利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの福祉が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

9

すべての方にうかがいます。

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。【○はあてはまるものすべて】

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（調査日現在）

1. 認定こども園（幼稚園も含む）（標準時間6時間以内で幼児教育を行う施設）
2. 認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育（認定こども園で4時間以上預かってもらうこと）
3. 保育園（保育所型と幼保連携型認定こども園を含む標準時間11時間以内または短時間8時間以内で親が働いている時間に子どもを預かる施設）
4. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
5. その他認可外の保育施設
6. ファミリー・サポート・センター（地域住民が有償で子どもを預かる事業）
7. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. 自治体の認定・認定保育施設（認可保育園ではないが自治体が認定・認定した施設）
10. こども通でも通園制度*
11. その他（ ）

※こども通でも通園制度：保育所などの利用要件を緩和し、親が就労していないくても時間単位などで子どもを預けられるようにする新たな通園制度のことです。

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。【○は1つだけ】

1. 区市町村 2. 他、他市町村

問15-2 「3. 保育園」に○をつけた方（保育園への保育を希望する方）にうかがいます。

問15-2 保育園にお子さんを何歳から預けることが適当だと思いますか。

（お子さんが） 歳 か月から

問15-3 保育園での保育を希望する理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 働いている時間帯に子どもをみる人がいないから
2. 家賃だけでなく、園を活用してしつけや教育をしたいから
3. 家庭に収入を得るために、できるだけ早く働くためから
4. 上の子が園へ入るには、下の子を預けて預かる必要があるから
5. 給食を食べさせてくれるから
6. 義の時間（地域活動や趣味等）に充てる時間）がほしいから
7. トイレトレーニングをしてくれるから
8. 同じ年の子どもと一緒に遊ぶことが大切だと思うから
9. 家庭での子育てに不安があるから
10. その他（ ）

10

問15-4 保育園を運営するときを基準に選びますか（選びましたか）。【○は3つまで】

1. 母体の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと
2. 父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと
3. 親の職場に開かず、近所の子どもと同じ園に通わせたい
4. 親の職場や近所の子に開かず、地元小学校の通学区域に通わせたい
5. その他、場所に関する基準に選ぶ（具体的に： ）
6. 園舎の設備・衛生面を基準にして選ぶ
7. 広さ・水遊びなど外遊びをしっかりとできるから選ぶ
8. その他の園舎や設備に関する基準に選ぶ（具体的に： ）
9. 土・水・草木などと触れ合い、野外散歩など自然体験をさせてくれること
10. 大人や地域との関わりを学ぶこと
11. しつけ（トイレ・はしりの持ち方など）をしっかりとってくれること
12. 文字や数字などを教えられること
13. 英語などができたり外国の子がいったりと多文化に触れる機会が豊富なこと
14. スポーツ教育をしてくれること 15. 音楽・絵画などの体験ができること
16. 長く保つてくれること 17. 乳児のうちに預かってくれること
18. 心身の障がいや自らの特徴を持っても預かってくれること
19. アレルギー対応がしっかりとっていること
20. 親の不安・子育ての相談を聞いてくれること
21. その他の保育内容に関する基準に選ぶ

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問16 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり相談をしたり、情報提供を受けたたりする場）を利用していますか。【○はあてはまるものすべて】
また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）※
1 週当たり 回 程度 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
2. その他該当母体で実施している類似の事業（具体的に： ）
1 週当たり 回 程度 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
3. 利用していない

※1次の表にある、乳幼児（生後0～3歳）とその家族が無料で利用できる親子の交流の広場です。
開館時間内であればいつでも行くことができ、館内時間も自由です。お楽しみ会、事業の行事など楽しい催しもあります。子育てアドバイザーが常駐し、口から育みになることも相談できます。

おしゃべりラダ（横濱）、産後等つどいの広場（産後等）、くまさんのうち（千代）、ひだまりサロン（島）、アイキッズスペース（伊勢）、なかよし広場（東宮）、わいわいひろば（松尾）、親子であそぼう（丸山）、ゆるり館（上野）、karian リトルジャイアント（三浦）、おしゃべりバト（山本）、karian リトルキッカー（川崎）

11



問 17 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと希望する。【○は1つだけ】

※該当する選択肢にはおおよその利用希望回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり 回 程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回 程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり更に 回 程度 もしくは 1 ヶ月当たり更に 回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を減やしたいとは思わない

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを教えてください。
（①～⑩の事業ごとに、1～3のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれか1つに○）
※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
①パパママ教室 先輩ママの話、パパの役割体験、書きえや絵画体験など 赤ちゃんの成長を体験します。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②両親学級（市立病院） ママの産後の心身、赤ちゃんの成長、育児について など専門家に合わせて受講します。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③授乳・育児相談（助産婦） 授乳などでお悩みのママに関する相談が受けられます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④産後ケア（産後訪問）の助成 産院や助産所に産後して心身のケアや育児のサポート が受けられます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤家事育児支援（助産婦） 育児に専念できないママに、自宅で家事や育児の支援が受け られます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥乳幼児食講座 子育てに関する悩みや、育児のヒントをもつネットワー クづくりに取り組んでいます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦離乳食講座 乳児の発達に合わせた適切な離乳食の支援を行います。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧保健師による相談 乳幼児の発達、子どもの健康、育児生活、食生活などに 関する相談です。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨保育所や認定こども園の園開放 本園に保育士が来園して、遊びや絵画を親子で楽し みながら親子の交流が出来ます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩ゆいぽろ広場 保育園の敷地内より、一帯に遊びながら利用者が利用 できる広場で、スタッフが常駐しています。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

12

	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
①飯田子ども家庭課（ゆいぽろ） お母さん、お父さん、子ども、家族や学校生活で悩んでいる など、子育てに悩むママやパパの悩みを相談できます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②ゆいぽろの広場 平日0～3歳の子どもが無料で利用できる親子の交流 の場です。遊び、絵画、読書などを行っており市内に 17カ所あります。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子育て家庭サポート事業 18歳未満の子どもが利用できる貸付カードを提示する と、地域内で利用サービスを受けることができます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④あそびで子育てナビ・パパナビ 子育てに関する情報を提供しているサイトです。 地域の子育て支援に役立ちます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤飯田子ども子育てネット 子育てに関する情報サイトとして、子育てに関する 情報を提供しています。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥あそびで子育てアプリ「母子モ」 地域の情報や子育て支援が、お子さまの成長を支援 することができるアプリです。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

お父さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育」 の利用希望についてうかがいます

問 19 お父さんの土曜口と日曜口・祝日に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか
（一時的な利用は除きます）。【○はそれぞれ1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※「教育・保育」とは、認定こども園（幼稚園も含む）、保育園、認可外保育園などの事業を指しますが、
親戚・知人による預かりは含みません。

※利用希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。（各自負担）

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
→ 時～ 時まで → 「3.」は問 19-1へ

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
→ 時～ 時まで → 「3.」は問 19-1へ

13

問 19 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方がいます。

問 19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。【○はあてはまるものすべて】

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親戚の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）

認定こども園（幼稚園も含む）を利用されている方（問 14-1 で「1.」「2.」に○をつけた方）に
うかがいます。 →該当しない方は、問 21へ

問 20 病気の子どもさんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の「教育・保育」の利用を希
望しますか。【○は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※時間（時刻）は、24時間制でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯
→ 時～ 時まで → 「3.」は問 20-1へ

問 20 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方がいます。

問 20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何か。【○はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親戚、親戚の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他（ ）

14

お父さんの病気の際の対応についてうかがいます （平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の「定期的な教育・保育」を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「1. 利用している」
に○をつけた方）にうかがいます。 →利用していない方は、問 22へ

問 21 この1年間に、お父さんが病気やケガで保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの利用が
できなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった →問 21-1へ 2. なかった →問 22へ

問 21 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 この1年間に、お父さんが病気やケガで保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの利用が
できなかったことはありますか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は何日程度か数字でご記入ください。

※平日の曜日の曜日も1日と数えます。

1年間の利用状況	日数
1. 父親が休んだ	日/月
2. 母親が休んだ	日/月
3. (両方を含む) 親戚・知人に子どもをみてもらった	日/月
4. 父親又は母親のうちどちらか一方が子どもをみた	日/月
5. ファミリー・リポート・センターを利用した	日/月
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日/月
7. 病院療育「おひさまはるる」 [※] を利用した	日/月
8. その他（ ）	日/月

※ 病院療育「おひさまはるる」の利用には、子育て支援課で事前申請が必要となり、利用料がかかります。
1ヶ月の定額となります。また一定の利用料がかかります。
対象年齢：生後6か月～小学校6年生まで、利用時間：月～金、8時～18時まで

問 21-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方に
うかがいます。

問 21-2 その際、「できれば病院・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受
診が必要となります。

1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい → 日 →問 21-3へ
2. 利用したいとは思わない →問 21-4へ

15

問 21-2 で「1. できれば育児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-3 上記の理由で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 他の施設（例：認定こども園（幼稚園も含む）・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 21-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-4 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 病気の子を他人に看養してもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用方法がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問 21-1 で「3.」から「8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看養したい」と思いましたか。
【○は1つだけ】

- また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。
1. できれば仕事を休んで看養したい ⇒ 日 ⇒ 問 22 へ
 2. 休んで看養することは非常に難しい ⇒ 問 21-6 へ

問 21-5 で「2. 休んで看養することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-6 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの養育を週に休みがとれない
2. 向学率などで休めない
3. 休む日数が足りないで休めない
4. その他（ ）

16

お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 22 お子さんについて、日中の定期的な医療や病気のため以外に、私用、親の滞院、不規則の就労、育児疲れ等の目的で不定期にご利用している事業はありますか。【○はあてはまるものすべて】
また、それぞれの日数を数字でご記入ください。
※1年間の利用日数（および）をご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり（保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育（通常の預かり保育のうち、不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. ショートステイ（短期入所生活援助事業）（一時的に子どもを施設へ宿泊させ、食育・保護する事業）	日
5. トワイライトステイ（夜間食育事業）（施設で夜間、子どもを食育・保護する事業）	日
6. ベビーシッター	日
7. その他（ ）	日
8. 利用していない	⇒ 問 22-1 へ

⇒ 問 23 へ

問 22 で「8. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 現在利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうかかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

17

問 23 お子さんについて、私用、親の滞院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。【○は1つだけ】
また、その目的は何ですか。【○は①～⑤のうちあてはまるものすべて】
必要な年間の日数を数字でご記入ください。
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい ⇒ 問 23-1 へ	年間計		泊
① 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物等）、リフレッシュ目的	年間		泊
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間		泊
③ 不規則の就労	年間		泊
④ 育児不安、育児疲れ	年間		泊
⑤ その他（ ）	年間		泊
2. 利用する必要はない ⇒ 問 24 へ			

問 23 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いませんか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：認定こども園（保育園・幼稚園も含む））
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：つどいの広場での一時預かり等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 24 保護者の所用（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）、により送り迎えで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いませんか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望はありますか。【○は1つだけ】
また、その理由は何ですか。【○は①～④のうちあてはまるものすべて】
必要な年間の日数も数字でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間計		泊
① 冠婚葬祭	年間		泊
② 保護者や家族の育児疲れ・不安	年間		泊
③ 保護者や家族の病気	年間		泊
④ その他（ ）	年間		泊
2. 利用する必要はない			

18

お子さんが5歳以上の方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。
※お子さんが5歳未満の方は、問 29 へ

問 25 お子さん、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。【○はあてはまるものすべて】
また、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。
※1. 放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間数も数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週		日	目	くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日	目	くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日	目	くらい
4. 保育園で預けと一緒に小学校低学年を預かるサービス	週		日	目	くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）※1	週		日	目	くらい
6. 放課後子ども教室※2	週		日	目	くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週		日	目	くらい
8. その他（公民館、公園など）	週		日	目	くらい

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により置かれた状況にない場合などに、保護者の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※2 放課後子ども教室…地域の力を借りて、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。熊本市では、道子町小学校区・丸山小学校区・鹿光小学校区・下久保小学校区・龍江小学校区で実施しています。

問 26 お子さん、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。【○はあてはまるものすべて】
また、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。
※1. 放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間数も数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週		日	目	くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日	目	くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日	目	くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週		日	目	くらい
5. 放課後子ども教室	週		日	目	くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週		日	目	くらい
7. その他（公民館、公園など）	週		日	目	くらい

19



問 25 または問 26 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 29へ

問 27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○はそれぞれ1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の児は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □ 時～□ 時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の児は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □ 時～□ 時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間の放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○は1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の児は利用したい	⇒ 利用したい時間帯 □ 時～□ 時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます

※ここからは父親、母親について選択がある場合、それぞれについてお答えください。
ひとり親世帯の場合、該当する方のみお答えください。

問 29 現在、国には下記のような職場での支援制度がありますが、ご存じでしたか。
【○は1つだけ】

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 育児休業給付 ^{※1} 、保険料免除 ^{※2} のいずれも知っている | 3. 保険料免除のみ知っている |
| 2. 育児休業給付のみ知っている | 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない |

※1 「育児休業給付」
子どもが原則1歳（原則2歳）までの期間に、おける雇用の喪失がなければ一定の要件を満たせば2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み

※2 「保険料免除」
子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

20

問 30 お子さんが生まれた時、父母のいずれがもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【○はそれぞれ1つだけ】

母親	父親
1. 取得していない ⇒ 問 31へ	1. 取得していない ⇒ 問 31へ
2. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-2へ	2. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-2へ
3. 取得していない ⇒ 問 30-1へ	3. 取得していない ⇒ 問 30-1へ

問 30 で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった	2. 仕事が多かった
3. 産後（産後）仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に戻るが難しかった
4. 仕事に戻るが難しかった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 保育園などに預けることができた
7. 保育園などに預けることができた	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が無職、祖父等との親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 配偶者が無職、祖父等との親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 職場に育児休業の制度がなかった
11. 職場に育児休業の制度がなかった	11. 就業規則に定めがなかった
12. 就業規則に定めがなかった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 育児休業を取得できることを知らなかった	14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	15. その他（ ）

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【○は1つずつ】

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-4へ	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-4へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ

21

問 30-3～問 30-5は、

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。【○は1つずつ】

※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月研修を経て一時的に認可外保育園に入所した場合は「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、業期には希望する保育園に入所できなかったという場合は「1.」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実務」にお子さんが何歳何月か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め元の育児休業の制度の期間内で、何歳何月か月のときまで取ったかったですか。
※数字で、記入ください。

母親	父親
実際の取得期間 □ 歳 □ 月	実際の取得期間 □ 歳 □ 月
希望 □ 歳 □ 月	希望 □ 歳 □ 月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、

「希望」としてはお子さんが何歳何月か月のときまで取ったかったですか。

※数字で、記入ください。

母親	父親
□ 歳 □ 月	□ 歳 □ 月

問 30-4で実際の希望と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかったのは、どのような理由からですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 【○はあてはまるものすべて】

母親	父親
1. 希望する保育園に入園のため	1. 希望する保育園に入園のため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の期日の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の期日の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方 【○はあてはまるものすべて】

母親	父親
1. 希望する保育園に入園しなかったため	1. 希望する保育園に入園しなかったため
2. 自分や子どもなどの精神的負担が大きかったため	2. 自分や子どもなどの精神的負担が大きかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

22

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つだけ】

母親	父親
1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もしくは短時間勤務だった） ⇒ 問 31へ	1. 利用する必要がなかった （フルタイムで働きたかった、もしくは短時間勤務だった） ⇒ 問 31へ
2. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった） ⇒ 問 30-8へ	2. 利用したかったが、利用しなかった （利用できなかった） ⇒ 問 30-8へ
3. 利用した	3. 利用した

問 30-7で「2. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

【○はあてはまるものすべて】

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった	2. 仕事が多かった
3. 短時間勤務にすると給与が削減され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が削減され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父等との親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父等との親戚にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった	8. 職場に短時間勤務制度がなかった
9. 就業規則に定めがなかった	9. 就業規則に定めがなかった
10. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	10. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
11. その他（ ）	11. その他（ ）

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（保育園への入所等）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【○は1つだけ】

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

23

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

母親についてうかがいます

※父子家庭の場合は、記入不要です。⇒問11へ

問10 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

※就労日数と1日当たりの就労時間によって、フルタイムかパート・アルバイト等、を選択してください。

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒問10-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒問10-4へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

問10で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字をご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る時の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字でご記入ください。

※時間や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る時の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【(例) 09時00分、18時00分】で記入してください。

家を出る時刻 □ 時 □ 分 帰宅時刻 □ 時 □ 分

問10で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 仕事と子育ての両立について保護者の方はどのような状況ですか。【○は1つだけ】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 仕事を優先している | 2. やむをえず子育てより仕事を優先している |
| 3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている | 4. やむをえず仕事より子育てを優先している |
| 5. 子育てを優先している | 6. その他（ ） |

4

問10で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つだけ】

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問10で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問10-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所を数字でご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったときに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- ⇒希望する就労形態
- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） | ⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度 |
| ② パートタイム・アルバイト等（①以外） | |

父親についてうかがいます

※母子家庭の場合は、記入不要です。⇒問12へ

問11 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒問11-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒問11-4へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

5

問11で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字をご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る時の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字でご記入ください。

※時間や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る時の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【(例) 09時00分、18時00分】で記入してください。

家を出る時刻 □ 時 □ 分 帰宅時刻 □ 時 □ 分

問11で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 仕事と子育ての両立について保護者の方はどのような状況ですか。【○は1つだけ】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 仕事を優先している | 2. やむをえず子育てより仕事を優先している |
| 3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている | 4. やむをえず仕事より子育てを優先している |
| 5. 子育てを優先している | 6. その他（ ） |

問11で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-3 フルタイムへの就労希望はありますか。【○は1つだけ】

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問11で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問11-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所を数字でご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 - 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったときに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- ⇒希望する就労形態
- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） | ⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度 |
| ② パートタイム・アルバイト等（①以外） | |

6

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問12 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行くことができなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった ⇒問12-1へ 2. なかった ⇒問12へ

問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にいった対処方法はどのようなことですか。【○は全てはまるものすべて】

また、その日数は何日程度か数字でご記入ください。

※平日程度の場合は1日と数えます。

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□ 日程度	⇒問12-2へ
2. 母親が休んだ	□ 日程度	
3. (両方を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ 日程度	⇒問12-5へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ 日程度	
5. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ 日程度	
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ 日程度	
7. 病児保育「おひさまはるる」※を利用した	□ 日程度	
8. その他（ ）		

※1 病児保育「おひさまはるる」の利用には、子育て支援課で事前登録が必要となり、利用前にかかりつけ医の診断が必要となります。また一定の時間利用がかります。
対象年齢：生後6か月～小学校6年生まで、保育時間：月～金、8時～18時まで

問12-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

- できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ 日 ⇒問12-3へ
- 利用したいとは思わない ⇒問12-4へ

7

891011

121211

飯田市

